



## 私の就活体験記

大学での学びをどう活かし、

社会へ還元・貢献していくか—

論理的に伝えることが重要です

## 恵良 友貴

心理学専攻 4年 大分県立大分上野丘高等学校 出身

内定先: 株式会社 岩田屋三越(※総合職)

## 情報収集と行動力が 就職活動を成功へ導く

震災直後から熊本県で被災地支援活動に取り組んでいたため、卒業後は「九州で働き、貢献したい」という強い思いがあり、業種というよりはエリアを優先してUターン(Jターン)就職をめざしました。就職活動を効率的に行うため、キャリアセンターのデータ活用や九州在住の友人の協力を得つつ、自らも積極的に情報収集した結果、福岡の百貨店から内定を獲得。中大のユニバーサル・メッセージ=「行動する知性。」を文字通り実践した就活でした。

## 日常の授業を通して培われる 社会人基礎力

面接試験では「人の話を傾聴し、その人が何を言わんとしているかを整理し、自分に何を求めているかを推測する」といった心理学におけるカウンセリングの手法のほか、グループワーク形式の演習での経験が活かされたと思います。また、文学部ではレポートを書く授業が多く、中でもライティングラボで指導される「一文一義」の意識づけは、自己PRを端的に伝えるという点で、エントリーシートを作成する際にも大変役に立ちました。

## 就職活動以前から私が心がけていたこと

社会では周りを和やかな雰囲気にする心配りの能力も大切です。普段から授業やサークル活動を通じて多種多様な人たちとふれあい、色々な考え方や接し方ができる柔軟性を身につけることをおすすめします。